

## 1 単元名

「冬野菜を育てて鍋パーティーをしよう」

## 2 単元について

### (1) 単元観

本校生徒の多くは、中学校卒業後、作業学習や現場実習が中心となる特別支援学校高等部に進学する。そのために中学校の段階から作業学習を経験し、生徒の働く意欲を高め、社会生活につながる作業学習にすることを意識して取り組んでいる。また、本校の作業学習（農耕）は、調理実習（家庭科）、治具の製作（技術）、植物の観察（理科）、作物の計量や仕分け（数学）というように、「領域・教科を合わせた指導」にも意識して学習に取り組んでいる。さらに、これらの学習の中で、社会生活に必要な知識や経験、礼儀や協力することの大切さなどを身に付けていって欲しいと考えている。

本校生徒の作業学習への関心や意欲の目的になっていたのは、地域のバザーへの参加であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により、バザーの開催そのものが中止となってしまった。そこで、販売という目的がなくなっても、作業学習への関心や意欲を持続させるために、農耕に関しては収穫した野菜で調理した料理を先生方にふるまったり、手芸に関しては出来上がった作品を地域のお世話になった方々へプレゼントしたりしている。いずれも、「ありがとう」と感謝されることが喜びとなり、作業学習での働く意欲につながっている。

本単元は、「鍋パーティー」に向けて、グループごとにどのような鍋料理にするのか、そのためにどんな野菜が必要なかを話し合い、インターネットや本を使って栽培方法などを調べ、お互いに発表し合い、それを自分たちで栽培していくという学習である。その中で、社会生活につながる作業学習として工夫したのは、ただ野菜を栽培するのではなく、調理実習に向けて必要な野菜の栽培であること、活動の中で協力することや自分の役割を果たす力を育むため、グループ学習にしたことである。また、主体的に学習に取り組む態度を育てるために作業で使用する治具を製作したり、作業カードを作ったりしたことである。栽培する野菜の決定や苗植えについても、教師主導ではなく、リーダーを中心として活発に対話をしながら、生徒主導で活動できるようにしたいと考え本単元を設定した。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は知的学級4名、自閉情緒学級5名の2クラスで構成されていて、作業学習は、学級の区別なく全員で行っている。教育課程に作業学習を週3時間確保しており、そのうち1時間で給食の白衣のアイロンがけを行い、2時間続きの作業の時間に農耕と手芸を行っている。

どの生徒も素直で、何事にも一生懸命取り組む姿勢がみられるが、指示の理解力や集中力、手先の器用さなどは個人差がある。生徒たちは、それぞれの得意な作業、不得意な作業があるが、お互いの個性を理解し、助け合って活動している様子が見られる。また、どの生徒も会話によるコミュニケーションが可能であるため、他の教科や活動においてもグループで協力して活動する場を意図的に設け、自分の考えを伝え、相手の意見を聞いたり発表したりするという活動を行っている。

## 3 単元の目標

- ・9、10月に種まき、苗植えができる冬野菜の栽培方法や調理方法について調べる。(知識・技能)
- ・美味しい鍋料理になる野菜の種や苗の植え方を工夫し、発表する。(思考・判断・表現)
- ・みんなで協力しながら、積極的に作業や調理に取り組む。(学びに向かう力・人間性)

#### 4 指導計画

時間	ねらい (学習活動)
3	冬の鍋パーティーに向けて、グループで話し合いを進めよう (班のメンバー、リーダーの決定。栽培する野菜の決定)
2	畑の準備をしよう (冬野菜づくりに必要な培養土、肥料を耕運機で混ぜる)
2	栽培する野菜について調べよう (種まきの時期と収穫の時期、栽培の仕方をインターネットや本で調べる)
2	調べたことをまとめよう (どんな鍋料理にするか、そのためにどんな野菜を育てるのかを相手に伝わるようにまとめる)
本時	冬野菜の苗を植えよう (栽培の工程と今日の活動をお互いに発表してから、苗植えをする)
10	冬野菜の手入れをしよう (水まき、間引き、追肥、草取りなどを継続して行う)
2	冬野菜の収穫
2	鍋パーティー招待状を作ろう
2	収穫した野菜で鍋を作って、おもてなしをしよう

#### 5 生徒の実態

(略)

#### 6 本時の目標

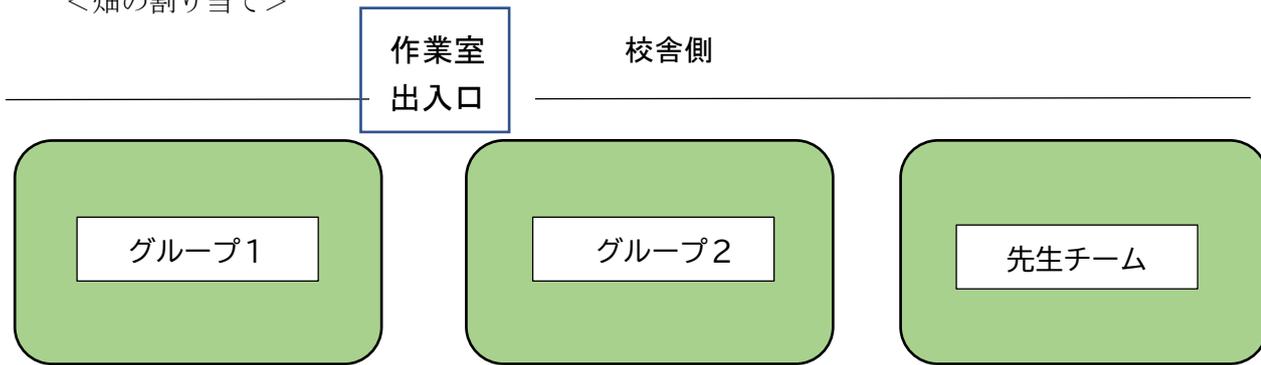
- ・みんなで協力して畝を作り、種や苗を植えることができる。(思考・判断・表現)
- ・積極的に作業に参加することができる。(学びに向かう力・人間性)

#### 7 本時の展開

学習場面	学習内容と活動	教師の支援
導入 4分	○作業室に入室し、グループごとに分かれて着席する。(水筒を教室から持参する) ○本時の課題の確認をし、授業の流れを理解する。	●各グループの道具が分かりやすいように準備しておく。 ●本時の課題と作業の流れを説明する。
<b>グループで協力して冬野菜の苗を植えよう</b>		
展開 発表6分	○1グループずつ、グループの紹介と栽培する野菜と今日の活動について発表する。 (1グループ3分以内)	●生徒が発表の内容をまとめたワークシートを黒板に貼り、準備する。 ●説明が足りない時は、補足説明になるような質問を入れる。
準備 5分	○長靴に履き替え、軍手をして、作業に必要な道具を取り、畑に運ぶ。(通級昇降口から)  ○グループごとに畑の前に集合し、リーダ	●グループごとに必要な道具や苗をわかりやすくまとめておく。  ●服装や道具の確認をする。

<p><b>作業</b> 20分</p>	<p>ーが点呼して教師に報告する。</p> <p>○各グループのリーダーは畝づくりカード①種まきの仕方カード②をもらう。</p> <p>○タイムキーパーは、タイマーをもらう。</p> <p>○作業の流れを確認して作業開始する。</p> <p>○リーダーがカード①を見て指示しながらみんなで協力して畝を作る。</p> <p>○カード①の作業が終了したらリーダーが担当の先生に報告する。</p> <p>○カード②を見ながら、できた畝に種や苗を植える。</p> <p>○作業終了時間の5分前になったら、グループのタイムキーパーが時間を伝える。</p> <p>○カード②の作業が終了したらリーダーが担当の先生に報告する。</p>	<p>●畝作りカード①、種まきの仕方のカード②をリーダーに渡す。</p> <p>●作業時間の目安を示し、各グループのタイムキーパーにタイマーを渡す。</p> <p>●グループに一人ずつ教員がついて見守る。</p> <p>●道具を安全に使用しているか見守り、危険を感じたら声をかける。</p> <p>●カード①の作業のチェックをする。できていたらカード②に進むように指示する。</p> <p>●カード②の作業のチェックをする。できていたら、片付けと水まきの指示。</p>
<p><b>片付け</b> 12分</p>	<p>○分担して片付けをする。</p> <p>水まき 2人(各1人)</p> <p>道具の片付け 4人(各2人)</p> <p>軍手の洗濯 3人を(各1~2)</p> <p>を分担して片付けをする。</p>	<p>●軍手の洗濯の見守りと声掛け (T2)</p> <p>道具の片付けの見守りと声掛け (T1)</p>
<p><b>まとめ</b> 3分</p>	<p>○作業室に戻って席に着く。</p> <p>○リーダーが今日の作業の反省を発表する。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>●片付けが終了したら作業室に戻るよう指示する。</p>

<畑の割り当て>



## 8 本時の評価

- ・みんなで協力して畝を作り、種や苗を植えることができたか。(思考・判断・表現)
- ・積極的に作業に参加することができたか。(学びに向かう力・人間性)